

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040072

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事業優先度	A		
単位施策	3	町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	空き店舗活用事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成29年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	5	保健福祉課	
事業指標	空き店舗の有効活用				#N/A	
事業目標	対象店舗1店		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	空き店舗活用に対する運営費補助 ・賑わいの場の創造創出 ・休憩施設活用 ・新規創業を目指した取り組み ・ワンデイレストランの実施 ・試作販売事業の運営			空き店舗活用に対する運営費補助 ・賑わいの場の創造創出 ・休憩施設活用		空き店舗活用用コミュニティビ ネス創出事業に対する運営費補 助 ・賑わいの場の創造創出 ・新規創業を目指した取り組み ・ワンデイレストランの実施 ・試作販売事業の運営	
	事業費(千円)	5,000	0	0	3,000	0	2,000
計 画 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	3,000		3,000		
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,000					1,000
	一般財源	1,000					1,000
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	3,000		3,000		
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,000					1,000
	一般財源	1,000					1,000
関 連 事 項	特定財源の名称 地方創生に向けてがんばる 地域応援支援事業助成金 【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 空き店舗活用事業に対する補助	
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了 対象店舗1店	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 対象店舗1店	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値					
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	#DIV/0!	100%
		全体達成率	0%	0%	60%	60%	100%
	事業進捗状況						

事業名	空き店舗活用事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	空き店舗活用数
【抱える課題やニーズは】	消費の流出による町内商店街の空洞化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	空き店舗を有効に活用することで、地域住民のニーズに沿った商店街の再生を目指す。	① 空き店舗活用数	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域住民の交流スペースとしての活用及び試作販売事業等の実施により商店街の活性化が図られる。		②
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の支出	空き店舗活用事業に対する補助金支出。 (賑わいの場の創出、チャレンジショップ開催・試作販売事業の運営)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	少子高齢化の著しい進展と消費の流出による町内商店街の空洞化に対し、速やかな対策による地域の活性化を図るため、本事業の補助は必要と判断する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	シニア世代を中心にコミュニティスペースとして活用されているほか、チャレンジショップや試作販売事業についても多くの客が訪れており、有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	補助事業を活用したうえで、限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本事業については、シニア世代を中心に広く活用されているほか、チャレンジショップや試作販売事業においても活用されていることから公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
シニア世代からはコミュニティスペースとして活用されているほか、チャレンジショップや試作販売事業においても活用されている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
空き店舗が増加傾向にあるなか、現行の活用に加え、新たな創業支援施策を検討するうえでも重要な施策であることから、事業の継続が必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止